



奈良県感染症情報

令和2年第48週(11月23日～11月29日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	1.56	(2.18)	➡	➡	➡	➡
2	A群溶連菌咽頭炎	0.24	(0.47)	➡	➡	➡	⬆️⬆️
2	突発性発しん	0.24	(0.53)	➡	➡	➡	➡
4	ヘルパンギーナ	0.15	(0.12)	⬇️	⬆️	⬆️	➡
5	咽頭結膜熱	0.09	(0.32)	➡	➡	➡	⬆️⬆️

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **⬆️⬆️**急増、**⬆️**増加、**↗️**やや増加、**➡**横ばい、**➡**やや減少、**⬇️**減少

◆ 県内概況 ◆

定点把握感染症の報告数は少ない状況です。全国の季節性インフルエンザの発生状況は、昨シーズンの同時期と比較し、100分の1以下となっています。季節性インフルエンザは、発熱や咳を起こし、新型コロナウイルス感染症の症状と非常に似ています。「筋肉痛があるからコロナではない」等自己判断せず、まずは身近な医療機関に相談してください。

48週において、県内新型コロナウイルス感染者が連日新たに20人前後の発生が続いており、事業所におけるクラスターや院内感染事案も散見されます。これから本格的な冬を迎え、さらなる増加が懸念されます。あらためて1次感染の予防と2次感染の防止に向け、「うつらない・うつさない」行動を徹底しましょう。また、感染リスクの高い場所の出入りを控え、風邪症状や体調が悪い場合は、無理して学校や職場等に行かないようにしましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(田中小児科医院)

咳と鼻汁の者は若干増えたが、インフルエンザ迅速検査を実施した者はいない。RSも今シーズンは診ていない。

ノロ胃腸炎も少ない。比較的高い年齢の突発性発疹を診る。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は増加していない。

短期発熱、その後の微熱、といった例が多いが Covid19 検査を紹介した例はなかった。

咳嗽例はあるが例年のようにRS,hMP肺炎を疑う例はなかった。感染性腸炎の流行はあるが嘔吐なくノロ様ではなく、乳児のロタもなかった。インフルエンザはまだない。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

アデノウイルス胃腸炎が増加。入院必要例もあり。ノロウイルス胃腸炎の流行はない。

遷延する呼吸器感染症は多くなってきたが、各種迅速での陽性例は少ない。

インフルエンザは散発性で流行には至っていない。発熱者はCOVID-19鑑別必要だが、無熱者より陽性がでている。



冬のコロナ対策へのご協力をお願いします

出典: 厚生労働省 HP

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 2 年 第 48 週 11 月 23 日 ~ 29 日

保健所別報告数	奈良県	北部		中部		南部	
		奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4
インフルエンザ							
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2
RSウイルス感染症							
咽頭結膜熱	3 (0.09)		1 (0.11)		1 (0.17)		1 (0.50)
A群溶連菌咽頭炎	8 (0.24)	2 (0.22)	3 (0.33)	2 (0.29)			1 (0.50)
感染性胃腸炎	53 (1.56)	8 (0.89)	15 (1.67)	10 (1.43)	18 (3.00)	1 (1.00)	1 (0.50)
水痘	3 (0.09)	1 (0.11)			1 (0.17)		1 (0.50)
手足口病	1 (0.03)	1 (0.11)					
伝染性紅斑	1 (0.03)	1 (0.11)					
突発性発しん	8 (0.24)		1 (0.11)	1 (0.14)	5 (0.83)		1 (0.50)
ヘルパンギーナ	5 (0.15)	1 (0.11)	2 (0.22)		1 (0.17)		1 (0.50)
流行性耳下腺炎							
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	1 (0.10)		1 (0.33)				
基底定点数	6	1	2	1	1	0	1
細菌性髄膜炎							
無菌性髄膜炎	1 (0.17)				1 (1.00)		
マイコプラズマ肺炎							
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(奈良市2、郡山1、中和1)
3類感染症	
4類感染症	レジオネラ症1件(奈良市1) E型肝炎1件(中和1)、日本紅斑熱1件(中和1)
5類感染症	梅毒2件(奈良市1、中和1)

❖ 第48週のトピックス ❖

◆直近の新型コロナウイルス感染症およびインフルエンザの状況
(2020年11月24日現在) (国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ia/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/2487-idsc/idwr-topic/9991-idwrc-2046.html>

◆(11月時点)新型コロナウイルス感染症の“いまについての10の知識”(※11月27日掲載) (厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/content/000699304.pdf>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男																						3010
	女																						
RSウイルス感染症	男																						105
	女																						69
咽頭結膜熱	男			2	1																		3
	女																						116
A群溶連菌咽頭炎	男				1	1		1	1	1													4
	女																						4
感染性胃腸炎	男		2	5	1	6	1	1	1	1	1	1	5	1	5								27
	女		1	3	4	1	3	2	1	2		1			8								26
水痘	男									1													1
	女											1											2
手足口病	男																						85
	女																						72
伝染性紅斑	男																						158
	女											1											121
突発性発しん	男	1	1	1	1		1																5
	女			2	1																		3
ヘルパンギーナ	男						1																1
	女			1	1	1					1												4
流行性耳下腺炎	男																						16
	女																						15
急性出血性結膜炎	男																						1
	女																						1
流行性角結膜炎	男																						41
	女																				1		40
細菌性髄膜炎	男																						6
	女																						3
無菌性髄膜炎	男																						4
	女			1																			1
マイコプラズマ肺炎	男																						15
	女																						14
クラミジア肺炎	男																						1
	女																						2
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						7
	女																						7

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ R2 ▲ R1 □ H30 〰 過去10年平均

